

## 四国・剣山～三嶺と石鎚山

日時：2023年6月17日～19日

メンバー：A原、S口、M浦

＜四国一美しい天空の稜線歩き＞なんかのさがしものをネットでしていた時、ふと目にした剣山～三嶺のキャッチコピー。その写真の美しさに心つかまれました。

それからというものその稜線歩きが気になっていましたが、遠方がゆえに交通費が高いことや四国に行ったことが無くまるで異国の地のイメージがあり、なかなか計画が立てられませんでした。ですがこのたび JAL スマイルキャンペーン(全便 ¥6,600)があり、またグッチとあややが興味を示してくれ、急ごしらえで四国山行の計画が立ち上がりました。

といっても安チケットは、行きの羽田→高松便はすでに満席でほぼ通常価格となり、セール価格で取れたのは帰りの松山→羽田便でした。

それからはグループライン「だんだん」を作って計画を練りました。

お休みは3日間。時季的に梅雨どまん中ので全日晴れは期待薄。メインは剣山～三嶺の縦走とし、石鎚山はついでに登ろうか、の計画となりました。

ところが実際は、梅雨の晴れ間というか梅雨明け？のような天気になり、なんと3日間晴れでした。ははは。あまりえらそーにするとお天気の神様から鼻をへし折られそうなので、声高には言わないけど、「やっぱ自分、晴れ女だわ」と、ニマニマしました。

以下、報告です。



6/16(金) 20:15 羽田発→高松空港 21:30 着。レンタカーはホンダフィット。あややが運転してくれた。道々は灯りがなくて、そのせいか満天の星空で天の川まで見えたような気がしたけど、まさかね。

美馬の道の駅にテントを張って四国上陸祝い。

6/17(土) 5時起床。近くのコンビニでおばちゃんに「剣山行くの？上に泊まったら天の川が見られるよ」と声をかけられた。昨日のあれはそれだったのか。

見ノ越駐車場着。登山リフトは9時からなので待たずにウォーミングアップを兼ねて8時に歩き出す。劔神社の階段を昇り、安全登山を祈願した。

初夏の森歩きはカジカガエルだろうか春ゼミだろうか、鳴き声が風情を通り越し、もはや騒音レベルにけたたましく鳴り響く。

小さな祠のある刀掛ノ松から展望が出てきて風も通るようになり、樹々の葉から洩れる陽射しがうれしい。宝蔵石神社を過ぎ、登り始めて1時間半で頂上ヒュッテ到着。

展望台デッキでは風にあたりながら眺望を楽しんだ。晴れてはいるが山やまが霞んで白っぽい。

北アの「劔」岳は険しい山容だが、こちらの「劔」山はいたって穏やかな山頂。広々として笹原に覆われ木道が整備され人工物やハイカーが多くいかにも、みんなに優しい百名山らしい。

山頂の三角点は石と太いしめ縄が巻かれ近づけない。

にぎやかな山頂を後にし三嶺への縦走路にむかう。これから歩く山なみが、雄大な笹原の稜線が遠く遠く続いている。ひとときわ緑のとがった山が三嶺だろう。

次のお山は「次郎笈(じろうぎゅう)」。

一面、緑の山肌に登山道が白く際立っている。劔山は別名「太郎笈(たろうぎゅう)」と呼ばれ、次郎笈はその弟分にあたる。見た目は太郎より次郎の方がイケメンだと思う。

次郎笈を過ぎると、縦走路には人もまばらとなり、見渡す限り人工物のない秘境ちっくな天空の稜線歩きになる。

これが見たかった景色。

山裾は深く、稜線は淡い緑のピロードのような美しさとたおやかな隆起の連続。その奥の奥は青の濃淡の山やま。

日本アルプスのような標高はないし山容もコンパクトだけどなにより美しい。スカイラインの米粒のハイカーさえも、青空をバックに絵になる。



ここいらの笹はミヤマクマザサという背が低くて茎も細く柔らかい。越後や南ア深南部の硬くて強くて背丈も覆う笹とは違って、笹の中の道は埋もれることなく遠く見渡せる。

小刻みにアップダウンがあるし、距離も長いけど、さわやかな風が吹き、パノラマの景色の広がる稜線歩きはとても気持ちがいい。

刺しはしないがところどころハエより小さな虫が寄ってきて防虫スプレーが欠かせない。

丸石を過ぎたところで一本を取ったが、入れたはずのペットボトルが無かった。お店を広げて探したが無い！どこかに置いてき

てしまったようだ。メンバーに貴重な水を分けてもらったが、このような失態を犯してしまい面目ありません。

12:36 丸石避難小屋。樹林帯の中にある小さな小屋だ。

高ノ瀬では、古い地図には水場マークがあるが最近の地図には水場マークは無く、その代わりに「？」表示で「誤りやすいポイント」となっている。今はもう涸れているのかも知れない。虫が寄ってくる高ノ瀬を逃げるように過ぎると緑の稜線に立ち枯れた樹木が白く乾燥した白骨林となる。痛々しいけど妖しく美しかった。

c1732 は平坦な笹原が広がりその先に三嶺がでんと鎮座していた。ぐっと近づいた三嶺が大きい。広くて風があって草原の匂いがして鼻唄がでる。

♪風に向いながら 皮の靴をはいて  
肩と肩をぶつけながら  
遠い道を歩く  
ぼくの地図はやぶれ くれる人もいない  
だから僕ら 肩を抱いて  
二人だけで歩く  
君のころ ふさぐときは 粹な粹な歌をうたい  
君をのせて 夜の海を  
渡る舟になろう ♪

by ジュリー



15:40 白髪避難小屋とうちゃこ。すでに数張りテントがあり、小屋には5人ほどのハイカーがいた。ポコポコと草の塊りの中に平らがあってその一つにテントを張ることにした。水場は小屋の南側を150mほど下りた沢で取った。冷たくて美味しい水だ。顔や頭を洗った。陽射しは痛いけど外宴会が気持ちがいい。ぬるいビールであっても美味しい。やがて風が出てきてテントを張った。風もなく静かな夜だった。

6/18(日) 3時半起床。4:35 出発。高台で振りかえると東の空が明るくなり、雲の帯からオレンジの太陽がのぞいた。

白髪山への分岐を過ぎるとカヤハゲ。三嶺が大きくそびえていた。小さなアップダウンをやり過ごし、山頂直下の岩場は右の基部の鎖を登る。

6:30 いよいよ三嶺にとうちゃこ。やったー、ありがとう！みなでグータッチ。360度の展望が素晴らしい。東の天狗塚方面のなだらかな美しい稜線もとても素敵だし、遠くの山々が墨絵のように浮かんでいた。



笹原の中の三嶺から下山路を行くと池のある三嶺ヒュッテ。緑の円形のすり鉢状の地形に池と赤い屋根の白い小屋が映える。たぶん、この景色見たさに三嶺に登る人も多いのだろうな。ヒュッテは広くて明るくきれいだった。トイレはぼっとな。水場は離れた場所にあるとのことだ。

下山路は延々と黙々と歩いた。たくさんのハイカーが登ってきていた。

9:05 見頃駐車場着。おつかれー。ありがとう。

10:33 発の見ノ越行きバスに乗って、車を回収するのだが、先着の京都のハイカーがジャンボタクシーを頼んでいてそれに便乗させていただけた。ラッキーだった。

10時前には見ノ越登山口に戻ってこられた。

お風呂の前にあやや希望の奥祖谷かずら橋を体験。日本三奇橋のひとつ、かずらで作られた原始的な吊り橋。ちょっとどきどきした。

お風呂は木綿麻(ゆうま)温泉 400円。打ち上げは美馬のうどん屋さんに立ち寄った。

今晚の宿は、エクストールイン西条駅前。広々和室でひとり3000円でさらに2000円のクーポン券付きだった。大浴場あり、洗濯&乾燥&洗剤もタダ、朝食無料だった。夜は名物の骨付き鶏の居酒屋で乾杯。

6/19(月) 石鎚山はこの四国山行の「ついで山」で、剣山-三嶺の山行で疲れたり天気が悪かったり気分が乗らなかったらパスして観光しようね、と言っていたのだが、残念ながら？幸いにも？どれも当てはまらなかったので行くことになった。

5時起床。ホテルでは無料バイキング朝食がついているが6時からなのでパス。近くのコンビニで済ます。

登山口の土小屋へは瓶ヶ森林道(UFO(雄峰)ライン)を行こう。長い寒風山トンネルを抜け瓶ヶ森林道に入る。瓶ヶ森や伊予富士などの尾根沿い1500m付近を縫うように走る天空の道だ。この道はトヨタ新型カロラのCM(菅田将暉と中条あやみドライブ編)にも使われた。最初はしばらく狭い蛇行道をグングン高度を上げていき、それを抜けるとまさに天空の道となった。気分は中条あやみとなり、運転手のあやも菅田くんに見えなくもなくもない？

7:50 土小屋登山口、装備を整えスタート。すでにc1500。いくつかある石鎚山登山口のなかでも最高地点だ。

なだらかに登っていく。針葉樹の間から石鎚山の鋭鋒が見えた。スタートして1時間ほどでベンチ3。ここから南尖峰へ行く東稜ルートへ。「登山禁止」の看板は見なかったことに。

ロープや赤テなどの標識はまったく無く、草刈りなど整備もされていないのでときどき深い笹藪を歩くこともある。落ちたらケガじゃすまないなあ、の岩場越えや細い岩稜尾根を歩く。

ぎらぎらの陽射しを浴びて岩稜を歩くありんこになった気分。暑いなあ。細い岩尾根の先に天狗岳の祠が見えた。山肌を縫う石鎚スカイラインが見えた。

10:05 南尖峰。10:13 天狗岳到着。小さな祠と天狗岳のプレートあり。

おお瀬戸内ジャクソン！クリアではないがしまなみ海道のような島々が見えた。



「ついでの山」だったけど来てよかった。絶景を満喫した。

ゆっくり休憩し、にぎわう石鎚山(弥山)へ向かう。10:45 石鎚山とうちゃこ。

下山は、三ノ鎖、二ノ鎖を下りた。これが噂の鎖か。なるほど巨大な鎖だ。鎖の輪っかに登山靴を入れたいのだがちょっと小さくてビミョー。

アトラクションが楽しい。この鎖の下降中、剣山-三嶺縦走で出会った関西のハイカーに再び会ってお互いびっくり。三嶺の時も石鎚山でも足元がサンダルだった。インドの人かな。

12:40 土小屋ゴール！おつかれーのグータッチ。大満足でした。

帰りの道路から見た石鎚山がピラミダルでめっちゃかっこよかった。あんなとこ登ったんだあ、と感慨もひとしおだった。

お風呂は、とべ温泉湯砥里館 400 円。その後、松山空港へ向かう。

グッチとあややの帰りの飛行機の時間が迫ってきたので、打ち上げはせずに空港解散とした。

私の便は 19 時なので二人を空港で見送ってから、ひとりドライブ。松山城でも行こうかと思ったが街中が混んでいたののでスーパーでブラブラ後、レンタカーを返却し、松山空港へ。空港内で鯛ごはんとビールでひとり打上げして四国山行を締めくくった。

梅雨の時に 3 日とも天気に恵まれたことはとてもとても嬉しいです。

私は初めての四国でしたが、飛行機なら 1 時間ちょっとのアクセスなので、これからセール価格のチケットが取れたらぜひまた再訪したいと思います。

JR の寝台車サンライズも魅力的なのでチャンスがあればそちらのアクセスでも行きたいな。

四国のお山は笹原に覆われたお山が多くて、あっちも歩いたら気持ちよさそうだなと思える稜線がいくつもありました。

標高こそ高くはないので峰みねを縦走するのも小刻みなアップダウンは苦にはならなそう。

なにより山が深くて人が少ないのがいい。夢の夢だけど、剣山から石鎚山まで繋ぐ四国山地縦走ができたなら素晴らしい。まずは、手が届きそうなところで、お亀岩避難小屋のストーブにあたる山行を近々したいかな。

----次回の四国でやりたいこと----

カツオを食す、エンジェルロードを歩く、丸亀城、モネの庭、下灘駅の夕日、ネイティブ土佐弁、行けたら仁淀ブルーの沢登り、お亀岩避難小屋に泊まる！

仲間と天気のおかげで、楽しくていい 3 日間でした。

ぐっち、あややほんとにありがとう。

筋肉痛は無いけど、虫刺されのかゆみが残って、搔くたんびに楽しくて美しい景色を思い出します。

コースタイム

6/16(金) JAL 羽田発 20:15~21:30 高松着→ニッポンレンタカー高松空港営業所→道の駅美馬にて仮眠

6/17(土) 8:00 見ノ越登山口(車デポ)→9:30-10:00 剣山→10:45 次郎笈→12:36 丸石避難小屋→15:40 白髪避難小屋(幕営)

6/18(日) 4:35 白髪避難小屋→6:30 三嶺→9:05 名頃→ジャンボタクシー→10:45 見ノ越(エクストールイン西条駅)

6/19(月) 7:00 土小屋登山口→7:50 東稜ルート→10:13 天狗岳→10:45 石鎚山→12:40 土小屋松山空港にて解散

おしまい

記:A 原